

# 東京農業大学農大稲花小学校

## 学校だより【6月28日】第13号



### 日ごろからの心がけ

6月24日(月)1時間目、千葉県南東沖を震源とする地震があり、世田谷区でも震度3。教室では子どもたちが素早く机の下に避難し、静かに先生の指示を待ちました。安全を確認して、間もなく授業を再開することができました。

農大稲花小学校は、昨年4月に竣工した新しい建物で、耐震構造となっています。また、大震災に備えての備蓄も行っています。しかし、地震は学校にいるときに起きるとは限りません。日ごろから、家庭でも、地震などの災害について話をする機会を作っていくことが大切です。小さい地震があったら、保護者の皆さまも子どもたちと一緒に机の下に避難することをお忘れなく！保護者の真剣な姿を見せることは、いざという時の子どもたちの安全を守ることにつながるのではないのでしょうか。

### カエルの卒業

農大稲花小学校の玄関で、毎朝子どもたちを迎えていたニホンアカガエルのオタマジャクシ。足が生えそろって、とうとう小さいカエルになりました。小さい水槽の中とはいえ自然界の厳しさを反映し、6頭だったオタマジャクシのうち、めでたくゴールにたどりついて大人になったのは1頭だけです。子どもたちも、逃げちゃったのかな、共喰いだよ、と様々な見解(?)を示していました。触らせて!という子どもたちが多いのも、農大稲花小学校らしくて素晴らしいところです。まだまだ小さいのですが、オタマジャクシがカエルになると飼育は難しくなります。生態系保全の観点から、学校内に放すことも望ましくありません。農大農大稲花小学校の子どもたちに見守られて大人になったカエルは、ご提供者の宇野誠一郎様(縫月堂 さとやま)に連れられ、6月27日(木)をもって無事に卒業(?)しました。



### 教育振興資金へのご寄付

本校では教育振興資金へのご寄付([URL:https://fundexapp.jp/nodai\\_toka/entry.php](https://fundexapp.jp/nodai_toka/entry.php))をお願いしています。

在校生の保護者様だけでなく、農大稲花小学校の教育に賛同して下さる企業や個人の皆さまからも募集しているものです。おかげさまで、保護者様はもちろんのこと、都内だけでなく遠隔地からご寄付をくださった方もおられるとのこと、誠にありがたく御礼申し上げます。農大稲花小学校の教育環境整備に充当させていただき資金で、ご寄付はいつでもしていただくことができます。これからも、農大稲花小学校の教育への様々な応援を、よろしく願いいたします。

校長 夏秋 啓子